

# 世界的ドキュメンタリーのプロが教える、 ドキュメンタリーワークショップ 「Curiosity」 ・好奇心の発見 Supported by Intel」開催 3月24日(土) 13時～ 中高生50名募集 2/29締め切り

世界最大級のドキュメンタリーチャンネル、ディスカバリーチャンネル  
(ディスカバリー・ジャパン株式会社、所在地:東京都千代田区、代表取締役社長:ジェ  
イムス・ギボンス)は、最先端コンピューター技術で世界をリードするインテル  
株式会社の協賛のもと、「Curiosity 好奇心の発見 ～ドキュメンタリー  
ワークショップ」を3月24日(土)13時から、イベントスタジオ「BankArt  
Studio NYK」(神奈川県横浜市)にて開催します。このワークショップに参加  
してくれる、ドキュメンタリー映像に興味を持つ中学生～高校生を50名  
募集します。応募は、ディスカバリーチャンネル ホームページ  
([www.japan.discovery.com](http://www.japan.discovery.com))から。



©2012 Discovery Communications

このワークショップは、自分の中の隠れた好奇心や可能性を探り、育む中高生の時期に、考える力、表現する力など  
学校教育とは違ったアプローチで知的成長を促すことを目的としています。世界的ドキュメンタリーのプロフェッショナルが、  
インターネットを通じて自由に映像がアップロードできるようになった現在だからこそ注意すべき点など、単なるテクニック  
にとどまらず、ドキュメンタリー業界の今を直伝します。アジアテレビジョンアワードをはじめ数々の賞を受賞している、ディ  
スカバリーチャンネル番組プロデューサー ビクラム・シャナによるシンガポールからの中継セッションや、東京造形大学学  
長・映画監督の諏訪敦彦氏<sup>すわのぶひろ</sup>らを講師にむかえたセミナーなど、一方的な講義形式ではなく、中高生が実際に映像や  
コミュニケーションを通して「好奇心を発見、表現する」ことを体感できるプログラムになっています。

「Curiosity」とは、ディスカバリーチャンネル史上最大の世界共通の大型番組プロジェクトで、最先端コンピューター技  
術で世界をリードするインテル コーポレーションのスポンサーシップのもと、昨年夏にアメリカを皮切りに、秋に日本でも  
始動しました。日本では、シリーズ「Curiosity 好奇心の扉」の放送を通して、好奇心から広がる発見の旅をお届けし  
て参りました。今回は放送に加えて、実際にワークショップを開催することで、子供たちの未来をつくる“好奇心”を実際  
に育む機会を提供することを目指しています。

## <イベント概要>

- 開催日時: 3月24日(土) 13:00～18:00予定  
開催場所: 「Bank ART studio NYK」神奈川県横浜市  
応募期間: 1月29日(日)～2月29日(水)  
応募条件: 中学生1年生から高校生3年生の男女(2012年4月の新中学生含む)。  
映像に興味があり、ワークショップに参加後、学んだことを作文等でレポートしてくれる方。  
参加費: 無料(交通費自費)  
応募方法: ディスカバリーチャンネル ホームページ([www.japan.discovery.com](http://www.japan.discovery.com))から。  
「あなたの好奇心は？」をテーマにした作文や必要事項を記入の上、応募。  
当選発表: 厳選に選考の上、当選者のみに3月5日(月)までに連絡します  
主催: ディスカバリー・ジャパン株式会社  
協賛: インテル株式会社  
協力: ATMK.Co.,Ltd、NPO法人BankART1929



## ガイド(講師)紹介

ディスカバリー・ジャパン(株)  
代表取締役社長  
**ジェームス・ギボンズ**



英国の新聞で報道担当記者を経て、英国テレビのエグゼクティブ・プロデューサー、マレーシアのテレビのニュースディレクターを経験。ディスカバリー・アジア社(シンガポール)で編成担当副社長を務め、2007年よりディスカバリー・ジャパン(株)代表取締役社長に就任。

ディスカバリーチャンネル  
番組プロデューサー  
**ビクラム・シャナ**



1995年にディスカバリー入社。これまでに500本以上のドキュメンタリー作品を監修。アジア・テレビジョンアワード、ニューヨークフェスティバル、オムニインターメディア、アカデミー賞などで多数ノミネートや受賞。

映画監督  
東京造形大学学長  
**諏訪 敦彦 氏**



1997年「2/デュオ」を発表後、「M/OTHER」でカンヌ国際映画祭国際批評家連盟賞を受賞。「H/Story」でカンヌ国際映画祭正式招待。2009年「ユキとニナ」をカンヌ国際映画祭監督週間にて発表。

映画監督  
なかむら たかゆき  
**中村 高寛 氏**



2006年映画「ヨコハマメリー」を監督。横浜文化賞芸術奨励賞、文化庁記録映画部門優秀賞、ヨコハマ映画祭新人監督賞・審査員特別賞ほか、11賞を受賞。

映画編集  
おおしげ ゆうじ  
**大重 裕二 氏**



ドキュメンタリー、劇映画共に多くの日本映画作品に参加をしている。2007年 河瀬直美監督「穢の森」2007年カンヌ映画祭・グランプリ受賞作品、青山真治監督「サッド・バケーション」(主演浅野忠信)、諏訪敦彦監督、古厩智之監督作品など多数。

## Curiosity とは

「Curiosity」とは、ディスカバリーチャンネル史上最大の世界共通プロジェクトで、最先端コンピューター技術で世界をリードするインテル コーポレーションのスポンサーシップのもと、昨年夏にアメリカを皮切りに、秋に日本でも始動しました。心に抱く素朴な疑問、それは Curiosity(好奇心)から始まります。大人になっても日常のふとした瞬間に湧き出す、未知の世界への探究心。好奇心の扉を開いて飛び出す新しい発見の旅。「Curiosity」が、あなたの“?”に答えます。日本ではさまざまな疑問に答える番組「Curiosity 好奇心の扉」を毎週火曜日夜10時から放送しています。今回は放送だけにとどまらず、「Curiosity 好奇心の発見」と題して、実際に好奇心を育むワークショップを実施します。

本プロジェクトの創始者である、ディスカバリーチャンネル創業者 兼 会長 ジョン・ヘンドリックスは、次のように述べています。「人間は皆、疑問を抱きます。好奇心こそが、人類の進化の源であり、あらゆる発見の原動力です。我々が日頃感じる漠然とした疑問から、生命に関する壮大な疑問まで、“なぜだろう?”と思う好奇心があるからこそ、我々は“人間”と言えるのではないのでしょうか。“Curiosity”は、その基本的な“なぜ?”に答えます。人間が抱くさまざまな好奇心を検証し、魅力的な映像でお届けします。」

## ディスカバリーチャンネル

200以上の国・地域で配信されている世界最大級のドキュメンタリーチャンネルです。科学的な視点で作られた多彩なドキュメンタリー番組を24時間放送しています。独自の綿密な取材と撮影、高度なテクニックを駆使した迫力の映像は、あなたの知的好奇心を満たし、発見の感動をお届けします。日本では1997年より放送を開始し、現在は全国のケーブルテレビ局、スカパー！、スカパー！HD、スカパー！e2、IPTV放送などで視聴いただけます。

## ディスカバリーチャンネル、および本件に関するお問い合わせ先

【一般視聴者】 ディスカバリーチャンネル [www.japan.discovery.com/](http://www.japan.discovery.com/) フリーコール 0120-777362(10:00~18:00 年中無休)

【報道関係者】 ディスカバリー・ジャパン株式会社 PR 担当: 加藤 TEL: 03-5218-2742

e-mail: [discovery\\_animal\\_press@discoverynetworks.jp](mailto:discovery_animal_press@discoverynetworks.jp)